



# 高田小だより

R4. 8月26日 発行  
文責：校長

「自主、自立、自信」やればできるの体験を支える学校づくり

## 2学期始業式

### 時間と約束を守り進んで勉強する子供に

### 気持ち新たに2学期がスタート

35日間の夏休みも終わり、子供たちの笑顔と元気な声が学校に戻ってきました。今年の夏は猛暑日が続いたうえに7月下旬から新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るい、県内でも毎日四千人を超える感染者が出る状況が続きました。お盆明けの8月中旬以降も減少にはほど遠く、ご心配も多かったことと思います。このような中ですが昨日、2学期がスタートしました。今まで以上に子どもたちをコロナウイルスの脅威から守り、安心安全な学校生活を送ることができそうですよう職員一同、力を合わせて教育活動を進めて参ります。

始業式では、子供たちに次の二つを心がけるよう話しました。

- 一、時間と決まりを守る。
- 二、自分から進んで勉強する。

一つ目の「時間と決まりを守る」は、本校の校訓「人物時間を大切に」にも示されています。なぜ時間を大切にしなければならぬかを説明するには、この紙面だけでは足りませんが、結論から申し上げますが、時間を大切にすることは生活の質を上げることにつながる（結果的に人生を豊かに生きることができ

る）と考えるからです。時間を守るべき理由が、他人からの信頼を築けるという考え方もありますが、小学校の成長過程で、時間を守って行動できる力を身に付けることができれば、将来自分のために使う時間や、他人のために使う時間をマネジメントする力が備わり、生活質が向上し、最終的に人生を豊かに送ることができると考えています。「自立と自信」につながる大切な要素でもあると思います。二つ目の、「自分から進んで勉強する」については、昨年度



2学期始業式の様子

から『やればできる!』を合い言葉に子供たちが勉強に頑張った成果が現れてきました。特に6年生で4月に実施した全国学力・学習状況調査では、国・算・理ともに正答率が全国と県の数値を上回る結果になったことからも伺えます。2学期はこの6年生の頑張りをお手本に、先生の話をしつかり聴いて、しっかりと考えるなど、自分から進んで勉強し、持っている力を最大限伸ばして欲しいと思います。まだまだコロナ感染が収束しない中ですが、以上の二点を職員一丸となつて進めていきます。

### 算数教室に強力な助っ人

8月初旬に算数教室を行いました。コロナウイルス感染防止のため、2年間で中止していたものですが、今年は感染対策を十



八代清流高校の生徒が丁寧に教えてくれました

運動会等で使用していた国旗掲揚台が、温知の森の木の成長に伴う枝葉の茂みの影響で、運動場からほとんど見えなくなり、数年間、校舎屋上の掲揚台を使っていました。歴史と伝統を感じ本校の掲揚台を使わないともつたいないと考え、夏休み中に職員で木を伐採しました。その甲斐あって、堂々とした掲揚台が現れました。今後も時間をかけて整備し、学校のシンボルとして大切にしたいと思えます。



### 3年ぶりにお目見え

### がんばった水泳教室

今年も泳ぎが苦手な子どもたちの泳力を伸ばすために、二日間水泳教室を行いました。水の中でリラクセスして浮く感覚を身に付ける練習をしたり、「伸び」の姿勢を保たせながら、体の沈み込みを防ぎ、前に進む方法を練習したりするなど、全職員で子供たちを指導しました。急遽、参加を遠慮してもらった子供たちもいて予定より人数が減りましたが、最終日にはほとんどの子供が距離を伸ばすことができました。喜んでいました。



